

上海日本人学校虹橋（ほんちやお）校

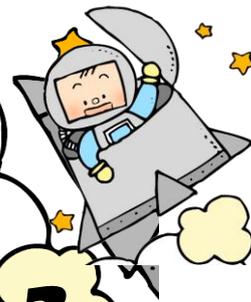
日本人学校だより 大黒晃嗣

げんきがあれば なんでもできる

平成27年8月4日（火）

NO

3



元気ですかーっ！

鳥取県の皆様、元気ですかーっ！元気があれば何でもできる！

というわけで、あれよあれよという間に上海での生活も3年目になってしまいました。もうすっかり中国語はべらべら・・・と言いたいところですが、日本人コミュニティが形成されているここ上海では中国語を使う必然性は薄く、最低限の中国語しか話せないのが正直なところです。（上海には約8万人が在住、出張や観光などの短期滞在者を含めると約10万人いるらしく、世界でも最も日本人の多く住む都市の一つになっています。言い訳にしかありませんが・・・。）今からでも遅くないので中国語が話せるように頑張ろう！と、心を新たにしている今日この頃です。

さて、先日（7月23日）1学期が終了しました。今年度は4年生を担当させていただいています。前は年間の主な行事を紹介させていただきましたが、今回は上海日本人学校ならではのことを紹介させていただきたいと思います。

★学習

・語学(中国語・英語)

本校では、語学学習として中国語と英語の学習を1年生から週に1時間ずつ行っています。

中国語は、合計6名の中国人講師がいて、1年生は1学級につき2名の中国人講師が、2年生以上は能力別（初級・中級2クラス・上級）に分かれてそれぞれ1名の中国人講師が本校独自のテキストを使って教えています。本校在籍児童の中には家庭で日常的に中国語を使用している児童もいて、そういう児童が多い上級クラスになると、私レベルの語学力では何を言っているのかさっぱり分かりません。

英語は、3名のネイティブ講師と2名の日本人講師がいます。3年生以上は学級を2クラスに分けて学習しています。（5・6年生は習熟度別）こちらも本校独自のテキストがあり、基本的にはこのテキストを使って学習を進めますが、5,6年生では「Hi! Friends」も併用しています。学級担任は、T2（チームティーチングの副）として

学習に入ります。

どちらの学習も系統立てて考えられた年間計画に基づいて実施され、学習内容も子どもたちが言語に楽しく親しめるような内容になっているので、子どもたちも毎時間楽しみにしていて意欲的に活動しています。

また、語学参観週間といって、中国語や英語の学習の様子を保護者の方に見ていただく機会も設けています。（年に2回の期間中、中国語・英語それぞれ各学級1回ずつ公開）



・現地校交流

学年単位で交流していて、どの学年も年に1回か2回の割合で上海市内の学校（中国の子が通う現地の小学校だけでなく、学年によっては上海市内にあるアメリカンスクールと交流する場合があります。）と交流する機会を設けています。本年度、4年生は呉淞第3小学校の3、4年生と6月に交流しました。相手



校にバスで行き、各クラスに分かれて名刺交換を行ったり、折り紙を折ったり、歌を贈り合ったりしました。子どもたちは、最初緊張しながらも、学習した中国語を使おうとする様子が見られました。交流を通して、言葉は上手く通じなくても気持ちは通じ合うことができるという感想が多くの子もたちから聞かれ、意義のある交流となりました。11月には本校に招いて2回目の交流を行う予定にしています。

★日常生活

・弁当

本校には給食はありません。子どもたちは毎日お弁当を持ってきます。作ってくださっているお家の方に感謝の気持ちを込めながら毎日ありがたく食べています。（もちろん私も！）給食と弁当、形は違えど同じ食、楽しい時間ですが、食育の時間としても大切にしていきたい時間です。



・大気汚染対策

本校では、大気汚染対策として一日4回（7:30、10:20、12:30、14:30）pm濃度を調べ、その指数（指数はレベル分けされ、分かりやすく赤・橙・黄などの色で判別されます。）に応じた対応をとっています。具体的には、赤以上の場合は全ての屋外活動中止、橙だと屋外での体育学習は行わないなどです。汚染指数によっては、晴れていても外で学習したり遊んだりできないという日が続くこともあります。大気汚染



の状況が子どもたちにも分かるように、児童玄関には色カードを掲示しています。また、各教室に空気清浄機を1台ずつ設置しています。

・通学バス

本校の登下校方法は、バス通学と個人通学（保護者送迎）に分けられますが、多くの児童は通学バスを利用して登下校しています。昨年度、法律改正により、これまでの通学システムからの大きな変更を余儀なくされ、年度当初は混乱することもありましたが、現在約40台ものバスが毎日子どもたちの送迎を行っています。これほど多くのバスが毎日学校に出入りしますので、それだけ事故などの危険性も高くなります。「安心・安全な登下校」をキーワードに、教職員・保護者が意識をそろえ、子どもたちの登下校を見守っているところです。ただ、中国の交通問題があったり、バス内で起こるトラブルがあったり、課題も少なくないのが現状です。



今回は、本校ならではのことをピックアップさせていただきました。本校の特色は他にもいくつかありますので、また機会があったら紹介させていただきたいと思います。

曇り日が続きますが、曇さに負けずお互い頑張りましょう！それでは、また。再見！！